

## でんぎの礎

—振り返れば未来が見える—

こんびにえんすすとあ  
**コンビニエンスストアによる**  
 でんきりょうきん しゅうのうだいこうしすてむ  
**電気料金などの収納代行システム**

**Integrated Payment Collection System for Electricity  
 Charges and Other Consumer Transactions via Convenience Stores**

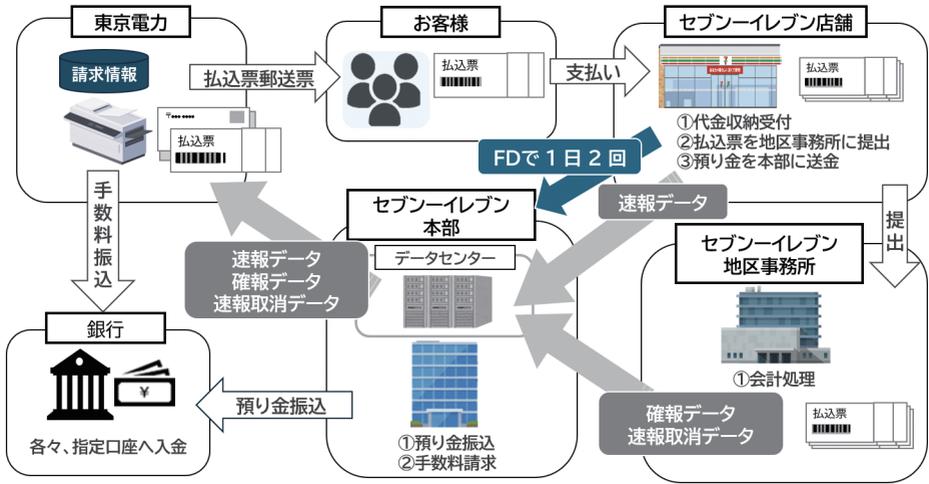


①

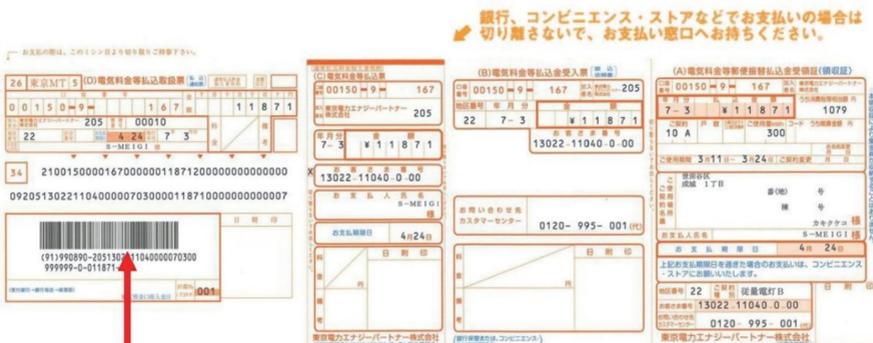
1987年（昭和62年）当時、金融機関での振り込みによる電気料金の支払いは、東京電力管内では全体の16%（288万世帯）にとどまっていた。そこで、コンビニエンスストアで電気料金を支払える「収納代行システム」を開発し、実用化した。この新しい仕組みにより、仕事帰りや夜間でも公共料金を支払えるようになり、利用者の生活スタイルに合った便利なサービスとして大きな支持を得ました。また、収納漏れや入金確認の遅れといった課題も解消され、収納の確実性が大幅に向上しました。開発の過程では、「バーコードの規格化」や「企業間でのデータ連携」など、当時としては難しい技術的課題を一つひとつ解決していきました。具体的には、請求書に「会社名・お客様番号・電気料金」などを表すバーコードを印刷し、コンビニエンスストアで読み取ることで迅速かつ正確な処理を可能にしました。当時はまだオンライン回線が普及しておらず、3.5インチのフロッピーディスクを使って午前と午後の2回店舗からデータを回収し、コンピューターセンターでまとめて処理することで重複収納を防いでいました。このシステムはその後、ガス・水道・電話、受信料などの公共料金や行政の各種税金にまで広がり、便利な仕組みとして社会に定着しました。結果として、収納率の向上や事務の効率化につながり、現在の電子決済システムの発展に大きく貢献した先駆的な取り組みとなりました。

- ☆顕彰先 : ①東京電力ホールディングス株式会社, ②株式会社セブン-イレブン・ジャパン, ③GS1 Japan（一般財団法人流通システム開発センター）
- ☆所在地 : ①〒100-8560 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号  
 ②〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8  
 ③〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル東館9階
- ☆ホームページ : ①<https://www.tepco.co.jp/> ②<https://www.sej.co.jp/>  
 ③<https://www.gs1jp.org/>

当時のビジネススキーム



②



③

年月	バーコードシステムの進歩
1987年10月	(財)流通システム開発センターにて、 <b>公共料金等のJANコード体系</b> を制定。 同年10月、(株)セブン-イレブン・ジャパンと東京電力(株)との間でシステム運用開始。 <b>13桁×3JAN = 39桁⇒会社名、お客様番号、電気料金、</b>
2007年4月	JANシンボルによる払込票の取扱終了。 <b>GS1-128</b> による払込票へ統一。 <b>44桁⇒会社名、お客様番号、電気料金、振込期限など</b>

<写真・図提供：①②株式会社セブン-イレブン・ジャパン，③東京電力ホールディングス株式会社，GS1 Japan（一般財団法人流通システム開発センター）>

- ① セブンイレブンの収納代行サービス
- ② ビジネススキーム
- ③ 電気料金払込用紙：東京電力ホールディングス株式会社  
バーコードシステムの進歩：GS1 Japan（一般財団法人流通システム開発センター）